

福岡市の学校

～平成16年度学校基本調査速報～

福岡市における平成16年度の学校基本調査（指定統計第13号 所管：文部科学省）の結果がまとまりましたので、その概要を紹介します。なお、今回紹介する数値は速報値です。後日文部科学省から発表される確報値とは異なることがあります。

1. 学校基本調査とは

学校基本調査は学校教育行政に必要な学校（小学校，中学校，高等学校，中等教育学校，盲学校，聾学校，養護学校，大学，高等専門学校，幼稚園，専修学校及び各種学校）に関する基本的事項を明らかにすることを目的とし，昭和23年度より毎年5月1日現在で実施されている調査です。

2. 幼稚園の概況

平成16年度の幼稚園数は130園で，前年度

に比べ1園減少しました。園児数は19,398人（男子9,872人，女子9,526人）で，前年度に比べ15人減となりました。年齢別に見ますと3歳児が4,780人と，最近6年で最高となりました（全園児の24.6%）。4歳児は7,133人（同36.8%），5歳児は7,485人（同38.6%）となっています。

教員数は1,204人で前年度から18人増加しています。職員数は222人で前年度から13人増加しました。

3. 小学校の概況

平成16年度の小学校数は148校で，平成10年度以降その数は変わっていません。

児童数は75,385人（男子38,419人，女子36,966人）で，前年度から196人増加しています。平成13年度までは減少傾向を見せていましたが，平成14年度に増加に転じてお

表1 幼稚園の概況

年度	園数	園 児 数						教 員 数（本務者）			職員数
		総数	男	女	3歳	4歳	5歳	計	男	女	
平成11年度	136	19,785	9,997	9,788	4,288	7,784	7,713	1,161	65	1,096	235
12年度	134	19,452	9,896	9,556	4,276	7,374	7,802	1,137	59	1,078	240
13年度	133	19,165	9,695	9,470	4,325	7,325	7,515	1,158	67	1,091	222
14年度	131	19,459	9,852	9,607	4,754	7,264	7,441	1,188	69	1,119	209
15年度	131	19,413	9,845	9,568	4,582	7,418	7,413	1,186	78	1,108	209
16年度	130	19,398	9,872	9,526	4,780	7,133	7,485	1,204	85	1,119	222

表2 小学校の概況

年度	学校数	学級数	児 童 数									教員数 (本務者)	職員数
			総数	男	女	1年	2年	3年	4年	5年	6年		
平成11年度	148	2,382	75,988	38,683	37,305	12,432	12,450	12,320	12,535	13,057	13,194	3,314	1,051
12年度	148	2,366	74,923	38,186	36,737	12,179	12,439	12,447	12,292	12,540	13,026	3,307	1,061
13年度	148	2,364	74,619	38,042	36,577	12,726	12,214	12,378	12,456	12,272	12,573	3,320	1,056
14年度	148	2,362	74,757	38,100	36,657	12,561	12,775	12,220	12,422	12,486	12,293	3,329	697
15年度	148	2,380	75,189	38,345	36,844	12,560	12,581	12,807	12,261	12,422	12,558	3,382	701
16年度	148	2,401	75,385	38,419	36,966	12,652	12,582	12,571	12,823	12,267	12,490	3,450	706

り、本年度もこの傾向が続いています。各学年を年次スライドしてみても、平成16年度の第3学年が前年度の第2学年と比べて減少した他は、各学年増加しています。また、学級数は2,401学級となり、前年度から見られた増加傾向が本年度も継続しました。1学級あたりの児童数は31.4人となり、前年度の31.6人から減少しました。

教員数も増加傾向にあり、3,450人と前年度に比べ68人の増加となっています。教員1人あたりの児童数は21.9人となり、平成11年度の22.9人と比べると5年間で1.0人減少していることとなります。

4. 中学校の概況

中学校数は83校で、平成12年度以降その数は変わっていません。

生徒数は38,465人（男子19,275人、女子19,190人）で、前年度に比べ529人の減少となっています。

生徒数を学年別に見ますと、第1学年が12,862人（前年度比270人増）、第2学年が12,602人（同384人減）、第3学年が13,001

人（同415人減）となっています。卒業生数より入学者数が少ない傾向が続いていますので、中学校全体の生徒数は昭和63年度以降減少が続いています。

教員数は2,187人（男1,282人、女905人）で、前年度に比べ3人減少しています。教員1人あたりの生徒数は17.6人で、平成11年度（18.7人）に比べ1.1人減少となっています。また、職員数は前年度に比べ4人減少し、233人となっています。

5. 高等学校の概況

高等学校数は41校で平成9年度以降その数は変わっていません。

生徒数は46,703人で、前年度に比べ1,287人の減少となっており、平成3年度以降減少が続いています。生徒数を本科・専攻科別に見ますと、本科では全日制が45,425人（前年度比1,248人減）、定時制が1,180人（同39人減）、専攻科は98人（前年度と同数）となっており、本科の生徒数は引き続き減少が続いています。

教員数は2,464人で、前年度に比べ47人減

表3 中学校の概況

年度	学校数	生徒数						教員数(本務者)			職員数
		総数	男	女	1年	2年	3年	計	男	女	
平成11年度	82	44,153	22,118	22,035	14,339	14,590	15,224	2,362	1,358	1,004	258
12年度	83	42,393	21,320	21,073	13,472	14,346	14,575	2,279	1,324	955	258
13年度	83	41,247	20,648	20,599	13,372	13,500	14,375	2,227	1,290	937	251
14年度	83	39,861	19,914	19,947	12,945	13,389	13,527	2,213	1,282	931	249
15年度	83	38,994	19,433	19,561	12,592	12,986	13,416	2,190	1,280	910	237
16年度	83	38,465	19,275	19,190	12,862	12,602	13,001	2,187	1,282	905	233

表4 高等学校の概況

年度	学校数				生徒数				教員数(本務者)			
	計	全日制	定時制	併置	計	本科		専攻科	計	全日制	定時制	
						全日制	定時制					
平成11年度	41	35	1	5	52,537	51,313	1,124	100	2,612	2,511	101	
12年度	41	39	1	1	52,212	50,958	1,158	96	2,564	2,488	76	
13年度	41	39	1	1	51,144	49,811	1,233	100	2,568	2,486	82	
14年度	41	39	1	1	49,876	48,516	1,258	102	2,532	2,448	84	
15年度	41	39	1	1	47,990	46,673	1,219	98	2,511	2,422	89	
16年度	41	39	1	1	46,703	45,425	1,180	98	2,464	2,377	87	

少しています。全日制では2,377人(前年度比45人減),定時制では87人(同2人減)となっています。教員1人当たりの生徒数は,全日制では19.1人(平成11年度は20.4人),定時制では13.6人(同15.2人)となっています。

6. 大学及び短大の概況

大学は,平成15年10月に九州大学と九州芸術工科大学が統合されたことにより,1校減り11校となりました。

学生数は76,267人(男48,842人,女27,425人)で,前年に比べ1,457人減少しています(男1,110人減,女347人減)。増加傾向にあった女子学生数が減少に転じ,男子学生については平成11年度以降最大の減少となりました。また,学生数を国,公,私立別に見ますと,私立大学の学生数が大きく減ったことが全体の学生数の減少に大きく影響しています。教員数は

4,479人で,前年度比62人の減少となりました。

短期大学の数はこの数年10校で変わっていません。学生数は5,507人(男684人,女4,823人)と前年度に比べ166人減少し,減少傾向が続いています。国立,私立別に見ますと,国立短大の学生数減少が大きく,この2年間で320人減少と半数以下になっています。教員数は275人で前年度比1人の減少となっています。

7. 大都市の大学・短大と学生数

大都市ごとに大学・短大の学生数とその割合を見てみますと,学校数・学生数ではやはり東京都区部が圧倒的に多いですが,推計人口にしめる学生数の割合になると,京都市に次いで福岡市が高い割合を示します。福岡市は「学生の多い都市」といわれることがありますが,統計数値からもこれが裏付けられます。

表5 大学及び短大の概況

年度	大 学										短 大							教員数		
	学 校 数				学 生 数						教員数	学 校 数			学 生 数					
	計	国立	公立	私立	計	男	女	国立	公立	私立		計	国立	私立	計	男	女		国立	私立
平成11年度	12	2	1	9	77,285	52,961	24,324	17,777	812	58,696	4,431	10	1	9	8,137	988	7,149	499	7,638	365
12年度	12	2	1	9	78,195	52,774	25,421	18,423	842	58,930	4,485	10	1	9	7,086	931	6,155	501	6,585	352
13年度	12	2	1	9	78,325	51,712	26,613	18,001	853	59,471	4,491	10	1	9	6,584	959	5,625	504	6,080	340
14年度	12	2	1	9	78,484	50,782	27,702	17,815	873	59,796	4,492	10	1	9	6,100	887	5,213	501	5,599	330
15年度	12	2	1	9	77,724	49,952	27,772	18,021	881	58,822	4,541	10	1	9	5,673	770	4,903	335	5,338	276
16年度	11	1	1	9	76,267	48,842	27,425	17,942	876	57,449	4,479	10	1	9	5,507	684	4,823	181	5,326	275

表6 大都市の大学・短大の学校数,学生数と推計人口

	学 校 数			学 生 数			推計人口 (平成16年5月1日 現在)	人口にしめる 学生の割合 (%)
	計	大学	短大	計	大学	短大		
札幌市	19	11	8	58,335	52,875	5,460	1,865,788	3.1
仙台市	14	10	4	48,915	47,742	1,173	1,023,616	4.8
さいたま市	5	3	2	15,858	14,661	1,197	1,063,206	1.5
千葉市	12	7	5	28,807	26,621	2,186	916,656	3.1
東京都区部	121	76	45	472,080	445,406	26,674	8,385,683	5.6
川崎市	6	3	3	29,776	28,783	993	1,302,731	2.3
横浜市	19	10	9	83,009	79,507	3,502	3,548,595	2.3
名古屋市	26	15	11	85,161	81,269	3,892	2,198,633	3.9
京都市	37	24	13	138,136	130,850	7,286	1,465,568	9.4
大阪市	18	7	11	33,231	26,776	6,455	2,633,029	1.3
神戸市	24	17	7	66,454	62,659	3,795	1,518,443	4.4
広島市	19	11	8	33,899	30,979	2,920	1,142,437	3.0
北九州市	15	9	6	25,230	22,962	2,268	1,000,612	2.5
福岡市	21	11	10	81,774	76,267	5,507	1,388,240	5.9

8. 中学校の卒業後の状況

平成16年3月の中学校卒業者は13,428人（前年比104人減）で、減少を続けています。

卒業後の状況の内訳を見ますと、「高等学校進学者」が12,848人（前年比130人減、構成比95.7%）、「専修学校進学者」が153人（同26人減、同1.1%）、「公共職業能力開発施設等入学者」が16人（同7人増、同0.1%）、「就職者」が135人（同35人増、同1.0%）、「その他」が284人（同14人増、同2.1%）となっています。高等学校への進学率が依然として95%以上の水準を保っていますが、就職者数が若干持ち直してきているようです。

表7 中学校卒業後の状況

年	総数	高等学校進学者	専修学校進学者	公共職業能力開発施設等入学者	就職者	その他
平成11年3月卒業生	15,420	14,866	87	14	146	307
12年3月卒業生	15,235	14,716	75	8	108	328
13年3月卒業生	14,583	14,029	66	8	162	318
14年3月卒業生	14,381	13,821	96	10	125	329
15年3月卒業生	13,532	12,978	179	9	100	270
平成16年3月卒業生	13,428	12,848	153	16	135	284

9. 高等学校の卒業後の状況

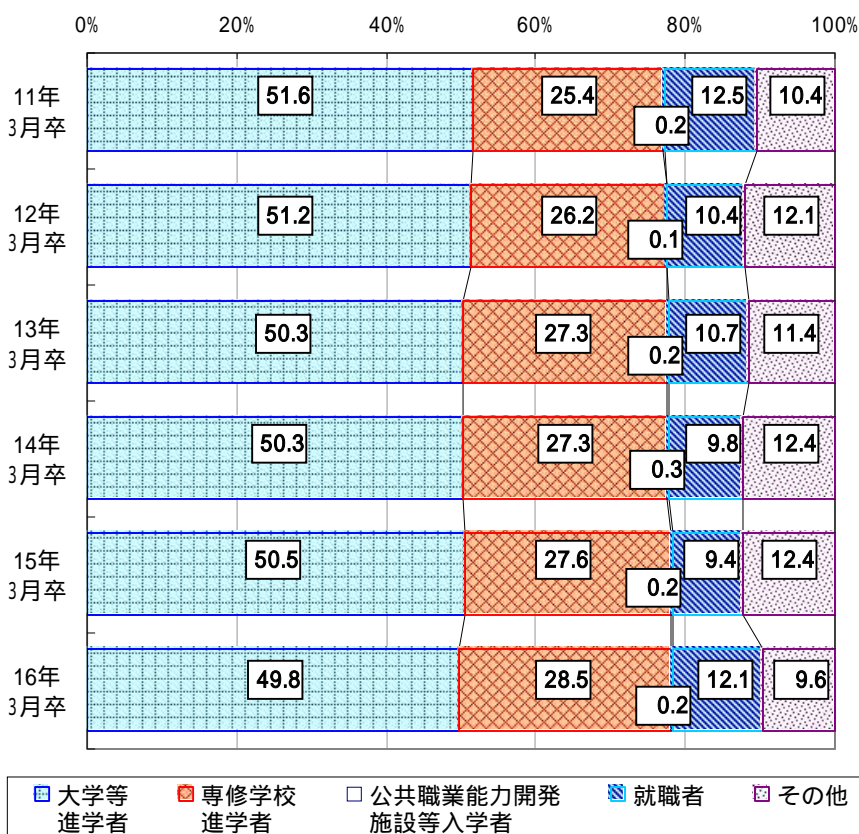
平成16年3月の高等学校卒業者は15,504人（前年比663人減）で、前年より減少幅が拡大しています。

卒業後の状況の内訳を見ますと、「大学等進学者」が7,717人（前年比448人減、構成比49.8%）、「専修学校進学者」が4,416人（同50人減、同28.5%）、「公共職業能力開発施設等入学者」が24人（同2人減、同0.2%）、「就職者」が1,873人（同352人増、同12.1%）、「その他」が1,490人（同508人減、同9.6%）となっています。大学等進学者が50%を割り込んでいることとは対照的に就職者が増加していること、また専修学校に進学し、キャリアアップを目指す高校卒業者が増えている、という傾向がみられます。

表8 高等学校卒業後の状況

年	総数	大学等進学者	専修学校進学者	公共職業能力開発施設等入学者	就職者	その他
平成11年3月卒業生	17,201	8,882	4,363	28	2,144	1,784
12年3月卒業生	16,551	8,479	4,337	20	1,715	2,000
13年3月卒業生	16,300	8,204	4,449	40	1,750	1,857
14年3月卒業生	16,351	8,232	4,458	42	1,598	2,021
15年3月卒業生	16,167	8,165	4,466	26	1,521	1,998
平成16年3月卒業生	15,504	7,717	4,416	24	1,873	1,490

図1 高等学校卒業後の状況（構成比）の推移



<今回の特集に関する
ホームページアドレス>

文部科学省
<http://www.mext.go.jp/>
 （各種統計情報の項）
 福岡県データウェブ
<http://www.toukei.pref.fukuoka.jp/>